

Challenger

港区立御成門中学校
3年学年通信
No. 6
2020.5.1

3年生の**保護者**のみなさま

ご家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか？このような緊急事態の中、健気に毎日を過ごす子どもの姿を見て、とても複雑な気持ちでいらっしゃるのではないかと思います。学校の課題に一生懸命取り組んでいる我が子を見れば「学校に行ければもっといろいろなことができるのに。」と思うでしょうし、遊んでいる我が子を見れば「勉強が遅れてしまうのではないか。」と心配になると思います。先日港区教育委員会が行った「保護者への緊急アンケート」の結果を見ても、多くの保護者の方々がお子様の「**学習面**」を心配し、子どもたちも同様に「勉強が分からなくなるのではないか。」「どのように勉強したらよいのか。」という**不安**を抱えていることがわかります。また、中学3年生のこの時期は**心も体も**急速に成長し、その成長のスピードに本人自身も戸惑う時期です。そのためにストレスやイライラを抱え、時には家族とぶつかることもあります。加えて、やがて迎える高校受験。本人は言わずとも、また外見では分からなくても、その子なりに受験の**フレッシュャー**と闘っています。14歳、15歳は「もう中学生」であるとともに「**まだ中学生**」です。休校中の今、保護者のみなさまには、一番のよき理解者として、そして人生の先輩として、ぜひともお子様をしっかりと見守り支えてあげてほしいと思います。具体的には、**①家庭を安心できる場所にする、②早寝早起きの生活リズムを作る、③子どもといろいろな話をする**、などです。③は当たり前のことのようにですが、普段は忙しくてなかなか親子の会話ができないものです。この機会にお子様とゆっくり、いろいろな話をしてみてください。その際「勉強しなさい」とお説教ばかりにならないように気を付けましょう。よいところを見つけ、努力している姿をほめてあげると、子どものモチベーションは上がります。そうは言っても、毎日家の中で顔を合わせていれば、家族同士ぶつかることもあるかもしれません。

「兄弟げんかばかりしていて困る。」という声も聞きます。「これはいつもと違う。心配だ。」と感じたら、遠慮なく**学校への専用連絡メール**にご相談ください。メール送信時にはメールのタイトルに「学年と生徒氏名」を記載してお送りください。必ずお返事致します。

onarimonchu@minato-tky.ed.jp

(全て英数半角です)



休校中でもできること、休校中だからできること

3年生のみなさん、元気にしていますか？今回は、休校が続いて不安な頭の中を整理して「休校中でもこれはこうできる！休校中だからこそできる！」を表にしていきたいと思います。できることを、まずひとつ。何かを始めれば道は拓けるものです。人と比べるのではなく、昨日の自分より一歩前進できるよう、がんばってください。

学校でしかできないこと	家でもできること
授業を受けて学力を身に付ける	課題などの学習に取り組み学力を身に付ける
先生に直接教えてもらい理解を深める	先生に直接聞かないと分からないことは学校への専用連絡メールアドレスにメールするか電話連絡時に質問する
体育で身体を鍛え体力を付ける	家でできる運動で、体力づくり
進路に関する情報を得て、進路について考える	「高校調べ」の課題に取り組んで、進路について考える
友達と直接交流し、絆を深める	友達と電話等で間接的に交流し、絆を深める
部活動で技と心を鍛える	家でできる練習をし再開後にそなえる
委員会・係活動で人の役に立つ	家の手伝いをして、家族の役に立つ

さらに！今だからこそできることはコレ！

★感染リスクを避け、家の中で安心して生活する

★1・2年生の復習をとことんやる

(これまでの高校入試は、出題の60%が1・2年生の学習範囲から出ると言われています！)

★家族といろいろな話をする

★将来について幅広く考えたり調べたりする

★自分の部屋の掃除をする

★趣味をつくる、趣味を楽しむ、特技を極める



学校で会える日を楽しみに待っています。

手洗いはこまめに、3密を避けて、身体を守ろう！